資料配布の場所・日時
1．北海道庁道政記者クラブ
2．札幌市政記者クラブ
3．北海道建設記者会
4．(株)建設行政新聞社
日時：令和8年11月16日（14:00）

国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所
令和８年 11 月 16 日

持続可能な冬期道路交通に向けて上川地域の雪対策を考える

～「 第 49 回 技術者交流フォーラム事業 in 旭川 」を開催～

令和８年 12 月 16 日に旭川トーヨーホテルで、冬期道路交通の確保に向けた課題や取組事例を紹介するフォーラムを開催します。なお主催団体などによるパネル展示も併せて開催いたします。

１． 開催日：令和８年 12 月 16 日（水）13：30～16：50

２． 場　所：旭川トーヨーホテル（旭川市７条通７丁目３２－１２）

３． 主な開催内容（詳細は別紙をご覧ください）

特別講演　「AI とデータで進める除雪 DX」
北海道大学 情報基盤センター 特任教授　山下　倫央　氏

４． 参加費：無料

５． 申込期限：令和８年 12 月 11 日（金）まで

６． 申込方法：下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所　イベント情報」からお願いいたします。
https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/

寒地土木研究所 HP（イベント情報）

第 48 回　技術者交流フォーラム事業 in 釧路　開催時の様子





取材いただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
当日、直接会場にお越しいただいても結構です。

【問い合わせ先】 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所　寒地技術推進室　室長　長瀬（ながせ）　禎（ただし）
主任研究員　森（もり）　俊之（としゆき）
電話番号　０１１－５９０－４０４６

第49回 技術者交流フォーラム事業 in 旭川

道北上川地域における雪対策と除雪の現状と課題

特別講演/一般講演

2026年12月16日(水)

13:30～16:50 参加無料

会場：旭川トーヨーホテル 2F（旭川市7条通7丁目32-12）

※当日のライブ配信(WEB配信)はございません。会場へお越しの上、ご参加ください。

申込み方法

寒地土木研究所 寒地技術推進室のWEBサイトまたは、
左記のQRコードよりお申込みください。

https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/ 寒地土木研究所 イベント情報

締切：2026年12/11 (金)

CPD・CPDS認定プログラム

(公社)土木学会 継続教育(CPD)プログラム
認定番号：JSCE26-1397
認定単位：2.5単位

(一社)全国土木施工管理技士会連合
継続学習制度(CPDS)プログラム
登録番号：1124009
形態コード：101-1　分野：3unit

※申込時のQRコード画像をスマートフォンに保存もしくは印刷してご持参ください。

※事前申込をされずに来場された方は、受付でお申し込みの上、ご参加ください。

※特別講演の資料は会場で配布しますが、一般講演の資料は配布しません。必要な方は後日Webサイトに掲載するデータをご覧ください。



主催：国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部、国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所、公益社団法人 日本技術士会 北海道本部 道北技術士委員会
後援：北海道上川総合振興局　旭川建設管理部、旭川市、一般社団法人 旭川建設業協会、上川調査設計協会
問合せ先：寒地土木研究所寒地技術推進室　TEL. 011-590-4046（平日9時～16時）

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
公益社団法人 日本技術士会 北海道本部

道北上川地域における雪対策と除雪の現状と課題

2026年12月16日(水)

13:30 ～ 16:50　会場：旭川トーヨーホテル

上川地域は北海道のほぼ中央に位置し、気温が低く雪の多い地域です。
約45万人が暮らし、旭川紋別自動車道や北海道縦貫自動車道などの主要幹線道路が多雪地帯を通過しています。
そのため、冬期の道路交通を確保するため除雪は不可欠ですが、近年はオペレータ不足や維持管理コストの増大、排雪場所の確保、異常気象への対応などが大きな問題となっています。
本フォーラムでは、道路除雪の現状や課題、今後の対策、最新技術について、産官学で情報共有と交流を行います。

13:00　開場

13:30 -13:35　開会

開会挨拶　旭川開発建設部長　佐々木 悟

13:35 -14:35　特別講演



AIとデータで進める除雪DX

北海道大学 情報基盤センター
特任教授　山下 倫央 様

除雪業務では、気象や路面状況を踏まえた日々の出動判断に加え、現場に蓄積された経験やノウハウを継承し、限られた人員・車両・予算を有効に活用することが求められます。本講演では、気象情報や定点カメラ画像を活用したAIによる出動判断支援と、生成AIを用いたマニュアル作成・知識整理の取り組みを紹介します。さらに、データと知識をつなぎ、持続可能な除雪業務へ展開するDXの方向性について述べます。

14:35 -15:05　技術者の交流 / 休憩

技術者交流の場として、講演会場の隣に「展示コーナー」を設けます。どうぞご覧ください。

【出展者一覧】
北海道大学情報基盤センター、旭川開発建設部、寒地土木研究所、旭川市





昨年の展示コーナーの様子



15:05 -15:35　一般講演❶



旭川市域における道路除雪に関する国・道・市の連携協定による取組と狩勝峠 i-Snowの取組

旭川開発建設部 道路整備保全課長　萩野 博紹

旭川市域の除排雪体制強化に向けたスポット排雪や除雪機械のワンオペ化及び、狩勝峠で進めるi-Snowによる自動化・運転支援の取組を紹介し、その成果を今後の課題を考察します。

15:35 -16:05　一般講演❷



旭川市における「除排雪先進都市」を目指した取組について

公益社団法人 日本技術士会 北海道本部
道北技術士委員会
（アライグループホールディングス株式会社 顧問）　幾原 春実

道北の中心都市である旭川市は、日本有数の積雪寒冷地であり、除雪延長は2,150kmにも及びます。令和3年度から取り組んでいる生活道路の排雪強化や国・道との連携、除雪DXなど「除排雪先進都市」を目指す取組を紹介します。

16:05 -16:15　休憩

16:15 -16:45　一般講演❸



除雪車オペレータの作業負担軽減に向けた寒地土木研究所の取組

寒地機械技術チーム 上席研究員　富田 真

少子高齢化等により急速に進む除雪作業の担い手不足への対策のひとつとして、寒地機械技術チームが進めている除雪車オペレータの作業負担軽減に向けた研究・開発の取組について紹介します。

16:45 -16:50　閉会

閉会挨拶　寒地土木研究所長　宮藤 秀之

